

## 関東建設青年会議通常総会・関東地整との意見交換会を開催!

栃木県建設業協会 青年経営者連合会



挨拶をする初山大介会長（千葉県）



通常総会・意見交換会の議論風景



委員会活動の報告（意見交換会）

令和5年9月29日、THE MARK GRAND HOTEL（さいたま新都心）で令和5年度関東建設青年会議通常総会と関東地方整備局との意見交換会が開催された。新型コロナウイルスの5類移行に伴い、コロナ禍前と同程度の参加者が集まった。

通常総会の冒頭、主催者を代表し、関東建設青年会議の事務局である（一社）千葉県建設業協会青年部会の初山会長から「今年度は関東建設青年会議が主幹となり、全国建設青年会議第28回全国大会が12月1日に東京プリンスホテルで開催される。ご参集の皆様には様々なご協力をいただくことと存じますが、よろしくお願いたします」と挨拶があった。引き続き通常総会の議事に入り、令和4年度に行った委員会活動や、全国建設青年会議全国大会の開催に向けたイベントの実施などについて報告がされた。令和5年度の事業計画としては、建設業が行う広報活動や社会貢献活動の情報発信の強化、魅力とやりがい溢れる建設業となるべく、国土交通省関東地方整備局との連携の強化に向け、定期的に意見交換等を開催すること。主幹ブロックとして、全国建設青年会議第28回全国大会を成功させることなどが事業計画として提案された。各議事については、出席者の満場一致で承認となった。

総会後に行われた「関東地方整備局（以下（関東地整）という）」との意見交換会では、まず、建設産業向上委員会の山中委員長（栃木県）から、一般の方300名を対象に行った「建設業のイメージ調査」の結果について説明があった。次に、建設産業情報発信委員会の小川委員長（埼玉県）からは、「建設業界をPRしよう」をテーマに工事現場に巨大な文字を出現させてのPRを行い、若い世代の方に建設業をアピールしていく取組を今後実施していくことが説明された。質疑応答では、関東地整からも多数の質問があり、活発な意見交換会であった。最後に、関東地整の令和5年度を取組状況として、「インフラ分野のDXの推進」、「BIM/CIMの取組」、「賃上げを行った企業に対する加点措置」といった取組について説明があった。講評として、関東地整の西川企画部長からは、「今後とも青年会議の皆様との連携・協力を深めていきたい」という言葉をいただいた。意見交換会終了後には、懇親会も行われ、盛大なうちに終了となった。